バイオテクノロジー標準化支援協会ジャーナル No.010

ezine ezine

発行日 2008年9月10日

URL http://www.sabsnpo.org

このメールジャーナルは今までは SABSNPO 内部向けのものでしたが、今回も、ひょっとして。少しでも興味を持っていただけるかも知れない方々にも配信を始めることにしました。 受信をしたくないと思われる方々は恐れ入りますが、その旨、下記 メールあて先にお知らせください。

このジャーナルのバックナンバーはホームページ(上記 URL)にあります。

バイオオテクノロジー標準化支援協会 第4回 定例会

(会場には世話人は 1 時から 5 時まで居りますので この時間帯にきてくださって も結構です。)

場所 八雲クラブ (ニュー渋谷コーポラス 10 階-1001 号) (首都大学東京同窓会)

(前回の出席者の方から会場の場所が分かり難いというコメントがありました。

簡単な見つけ方は、まず、"東急ハンズ"を見つけてください。 正面から見て左の 辻を入るとハンズの商品の搬入口があります。 その入り口の左側がニュー渋谷コ ーポラスの入り口です。)

住所: 渋谷区宇田川町 12-3

電話番号: 03-3770-2214

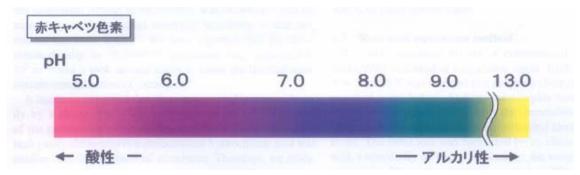
話題

1) pH指示試験紙か手持ちpHメータか?

最近、手持ちのpHメータ がいろいろと市販されるようになってきました。・また、 値段も非常に安価になって使いやすくなってきました。

それでも学校ではpH試験紙(或いは指示薬)が中心に教えられています。 さすがに

リトマス試験紙は減りましたが、赤キャベツの色素までとびだし、色素の変色状態を教えるのに熱心です。 色の変化は面白いには違いありませんが、pHの定量的な知識を与えるには、pHメータのほうが、はるかに有効な気がいたします。



しかし、実際に、教育の現場で多数の手持ち pHメータを購入しているところでも「手持ち pHメータは当てにならない。」という意見もあったりします。 また、家庭でこのような 装置を使用する場合でも正確な使用法、保存方法を教えていく必要があります。 さらに、pH校正用の標準液のサイズも大きすぎるように想います。

この辺りの議論を始めておかなければ、アメリカや中国に遠く及ばなくなってしまうかもしれません。そのような議論のきっかけが出来れば幸いです。

参考資料 ; JIS Z8802-1984 pH測定方法」

JIS K0020-1997 標準物質-中性りん酸塩

その他

(少し量が多いので、 会場で配布します。)

2) 前回の会合で話が出ました、 松坂菊男さんの話を時間があればお聞きいたします。 時間がなくなればこの次の機会に廻すことにいたします。

超高純度金属の性質と標準化

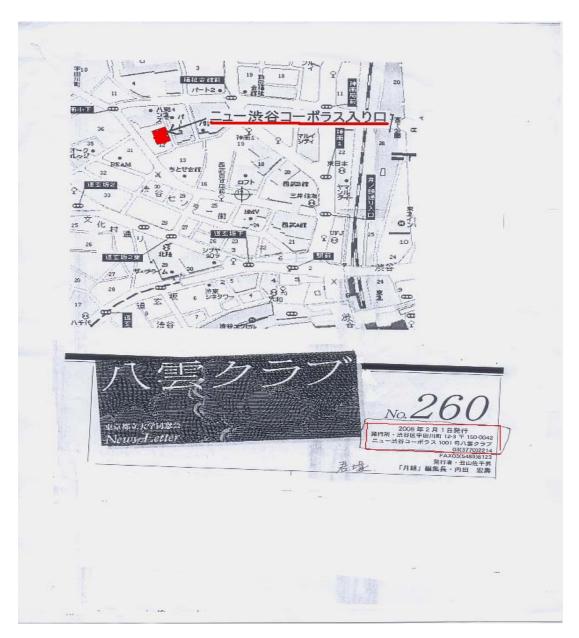
Materials Transactions, JlM, Vol. 41, No. 1 (2000) pp. 203 to 209 Special Issue on Ultra-High Purity Metals ©2000 The Japan Institute of Metals

Corrosion of Ultra-High Purity Aluminum in Hydrochloric Acid

Kikuo Matsusaka, Hiroto Osono and Takao Kino*

Department of Technology, Hiroshima Kokusai Gakuin University, Hiroshima 739-0321, Japan

To investigate the corrosion behaviors of 6 grades aluminum, the samples were immersed in a concentrated hydrochloric acid. The mass loss of the immersed sample was measured and the sample surface was investigated. The dissolution of the samples from the 2 N to the 5 N samples depends on the sample purity, but the difference between the 5 and 7 N samples is small. It is considered that a thin layer on the surface of the sample has a direct effect upon the dissolution rate.



奥山 典生

東京都立大学(首都大学東京)名誉教授

(株) プロテイン テクノス インスティテュート

t&f 045-981-9455

E-mail ① protein-tech-inst@g01.itscom.net

2 OkuyamaTsu99@aol.com

バイオテクノロジー標準化支援協会からジャーナルをお届けします。

- 配信停止・中止希望; URL http://www.sabsnpo.orgにアクセスし、連絡 先欄にその旨記載してください。
- ② 配信先等、登録情報変更希望; URLhttp://www.sabsnpo.orgにアクセスし、 連絡先欄に変更内容を記載してください。
- ③ バイオテクノロジー標準化支援協会に新規会員登録を希望; URL http://www.sabsnpo.orgにアクセスし、連絡先欄にその旨記載してください。または入会希望書に必要事項を記載の上FAX送信ください。詳細確認希望の場合はその旨記載下さい。こちらよりご連絡差し上げます。
- ④ ウエブサイトに関するご意見; URLhttp://www.sabsnpo.orgにアクセスし、 連絡先欄にご意見を記載ください。